

IPランシーバー かんたんセットアップマニュアル

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは本製品をセットアップするための方法を説明しています。
使用前にこのマニュアルをお読みになり、正しくお使いください。
このマニュアルは大切に保管してください。

STEP1

機材の確認

STEP2

各部の名称と機能

STEP3

PCの設定

STEP4

接続手順

STEP5

接続状態の確認

STEP6

SSIDの変更

STEP7

通信テスト



STEP1 機材の確認

運用の際は下記の機材を使用します。

品名	外観	備考
IPコントローラー IP1000C		IPアドレス:192.168.1.*** サブネットマスク: 255.255.255.0 ユーザー名:admin パスワード:admin
IPコントローラー用 ACアダプタ ACケーブル		入力:AC100V 出力:DC12V 3.5A
クローニングケーブル スリムL型プラグ変換ケーブル		セットアップ用
USBドライバソフトウェア		セットアップ用
IPトランシーバー本体 IP100H		
IPトランシーバー用 急速充電器		ACアダプタ付属 入力:AC100V 出力:DC12V 1A

品名	外観	備考
タイピンマイクロホン (オプション品)		同時通話用
ヘルメット用ヘッドセット (オプション品)		同時通話用
6連急速充電器 (オプション品)		ACアダプタ付属
LANケーブル (お客様調達品)		CAT5e以上を推奨

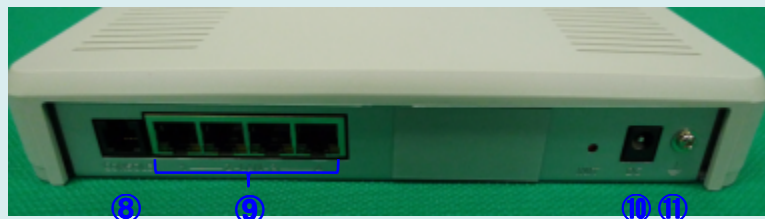
STEP2 各部の名称と機能

IPコントローラー フロントパネル



- ①UPDATE: バージョンアップ時(MSGランプ点灯時)
MSGランプが点滅するまで長押しすると
バージョンアップが開始し、更新後再起動します。
- ②PWR: 緑点灯-電源ON時
橙点灯-起動処理中
消灯-電源OFF時
- ③MSG: 点灯-(オンライン)ファームウェア更新あり
点滅-(オンライン)ファームウェア更新中
- ④V/RoIP: 点灯-IP無線機登録が1つ以上あり
消灯-IP無線機登録なし
- ⑤LAN: 緑点灯-LAN接続時(1000BASE-T)
橙点灯-LAN接続時(10BASE-T/100BASE-TX)
消灯-未接続時
- ⑥USB: 緑点灯-USBポート接続時
緑橙交互点滅-USBメモリーにアクセス中
- ⑦USBポート

IPコントローラー リアパネル



INITボタンは製品の設定を完全初期化するボタン
ですので、絶対に押さないでください。
万一、ボタンを押された場合は、製品保証
対象外となりますので、十分ご注意願います。

- ⑧Console: RJ-11接続に使用します。
- ⑨LAN: 点灯-LAN接続時
点滅-LANデータ通信中
左: 緑色-1000BASE-T時
右: 橙色-10BASE-T/100BASE-TX時
- ⑩DCジャック
- ⑪アース端子



STEP2 各部の名称と機能

IPトランシーバー



①電源/音量ツマミ: 時計方向に回すと電源ON/音量大
反対に回すと音量小/電源OFFになります。

②送信/受信ランプ: 赤点灯-送信中
緑点灯-受信
消灯-待ち受け中

③PTT(送信)スイッチ: 押している間は通話相手に音声を送信し続けます。

④表示部

⑤操作キー

⑥オプションキー

⑦マイクロホン

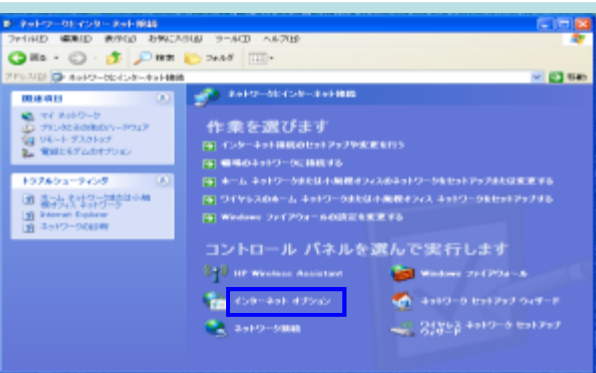
⑧スピーカー

⑨保護カバー: タイピンマイクロフォンやクローニングケーブルを接続する端子です。

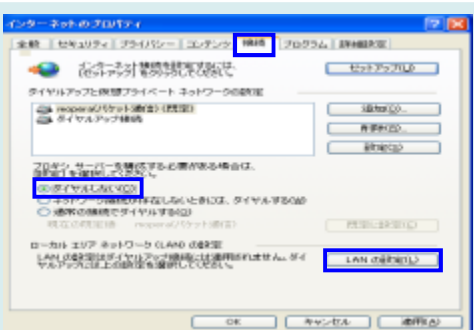
STEP3 PCの設定(WindowsXP 1/3)

「Falcon WAVE 2.4G」と接続するPCは、IPアドレスとサブネットマスクが「Falcon WAVE2.4G」と同じアドレスグループに設定されている必要があります。ここではWindowsXPとWindows7についての設定手順をご説明します。(すでに設定済みの場合はSTEP4 設置手順へ)
また、必要に応じて巻末の「設定記録シート」に変更前後の値を記録してください。

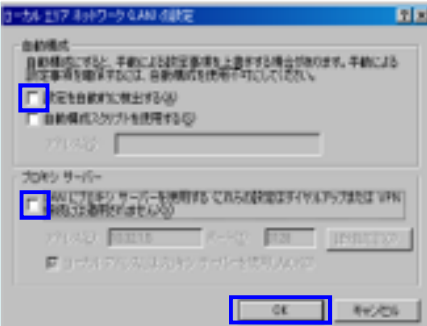
WindowsXPでの手順



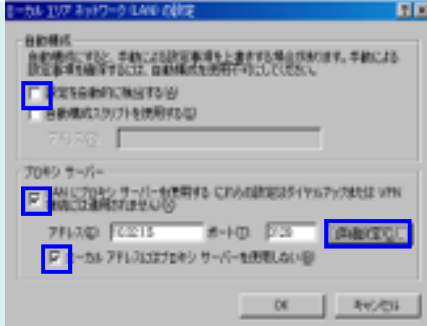
①「インターネットオプション」を開いてください。
通常表示:「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「インターネットオプション」



②「インターネットのプロパティ」が開きます。
「接続」のタブをクリックし「ダイヤルしない(C)」を選択し、「LANの設定」をクリックします。



③「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」が開きます。
なお、この項目は「測定専用PC」と「既設システムに組み込まれたPC」では設定内容が異なります。



【測定専用PCなど、プロキシサーバの設定をしなくてもよい場合】

「設定を自動的に検出する(A)」のチェックをはずします。
プロキシサーバーの「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックをはずします。

「OK」をクリックし「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」を閉じます。
接続タブ画面にもどりますので、「適用」をクリックし、次に「OK」をクリックします。

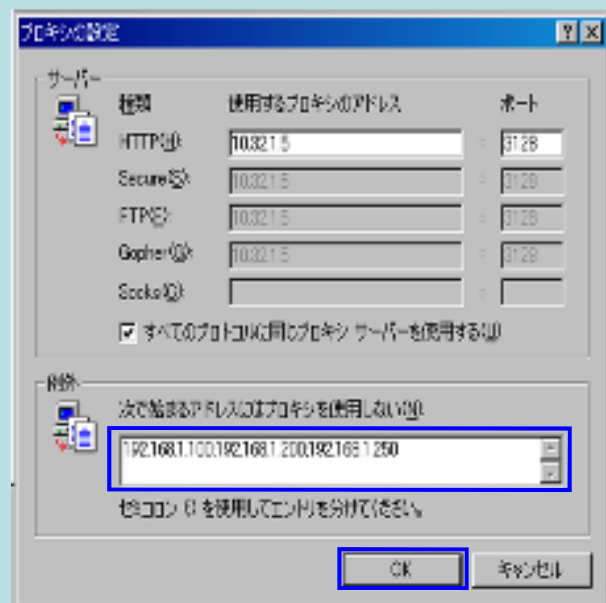
→⑤に進みます。

【既設システムに組み込まれたPCなど、プロキシ設定を無効にすることができない場合】

「設定を自動的に検出する(A)」のチェックをはずします。
プロキシサーバーの「LANにプロキシサーバーを使用する」をチェックします。
「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない(B)」をチェックします。
「詳細設定(C)」をクリックします。

→④に進みます。

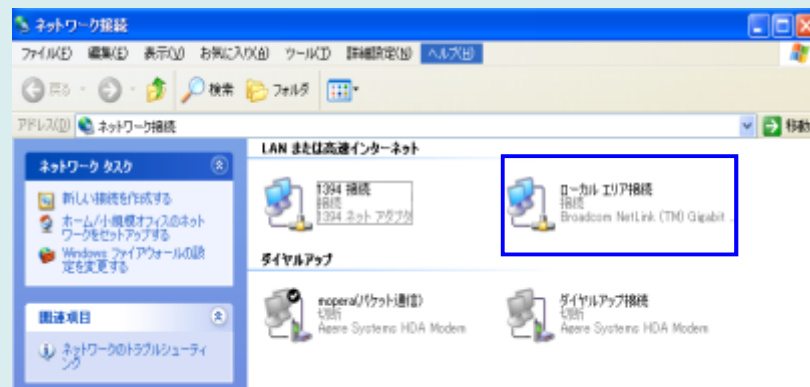
STEP3 PCの設定(WindowsXP 2/3)



④「例外」の「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(N):」欄にこのPCから接続する機器(「Falcon WAVE 2.4G」や対向側PC、ネットワークカメラ、ネットワークレコーダ等)のIPアドレスを登録します。

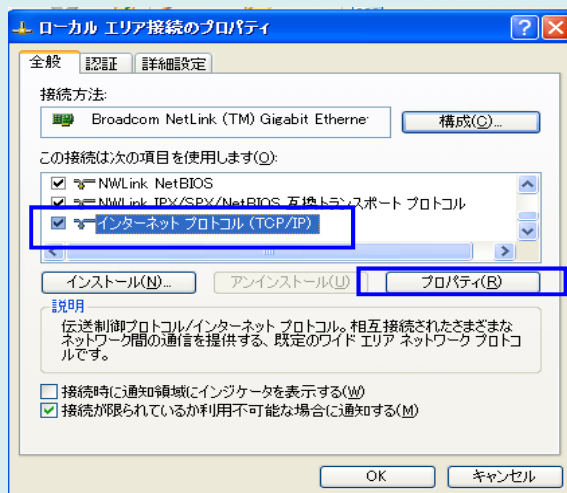
その際、アドレスとアドレスの間を「; (セミicolon)」で区切ります。
(入力例: 192.168.1.100;192.168.1.200;192.168.1.250)

「OK」をクリックし「プロキシの設定」を閉じます。
「OK」をクリックし「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」を閉じます。
接続タブ画面にもどりますので、「適用」をクリックし、次に「OK」をクリックします。

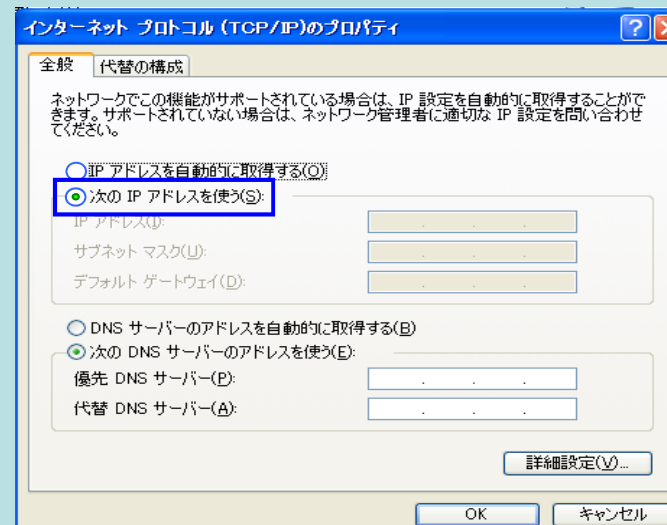


⑤「ローカルエリアの接続」の「プロパティ」を開きます。
「スタート」→「マイネットワーク」→(右クリック)「プロパティ」
→「ローカルエリアの接続」→「プロパティ」

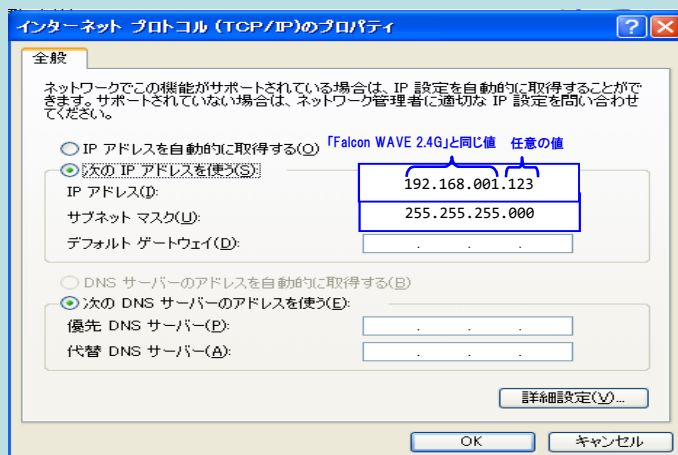
STEP3 PCの設定(WindowsXP 3/3)



⑥「インターネットプロトコルTCP/IP」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。



⑦「次のアドレスを使う(S)」を選択してクリックします。



⑧このPCのIPアドレスを設定します。

IPアドレスとサブネットマスクの上3ブロックの設定は「Falcon WAVE2.4G」と同じ設定にしてください。
また、最後の1ブロックは1～254までの自由な数値を設定してください。(ただし他の機器と重複しないこと)
(入力例:IPアドレス:192.168.1.123/サブネットマスク:255.255.255.0)

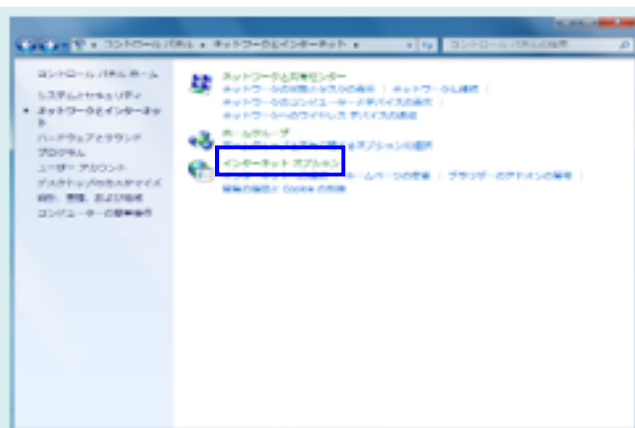
⑨「OK」をクリックして「インターネットプロトコルTCP/IP(R)」を閉じてください。

⑩「OK」をクリックして「ローカルエリアの接続」の「プロパティ」を閉じてください。

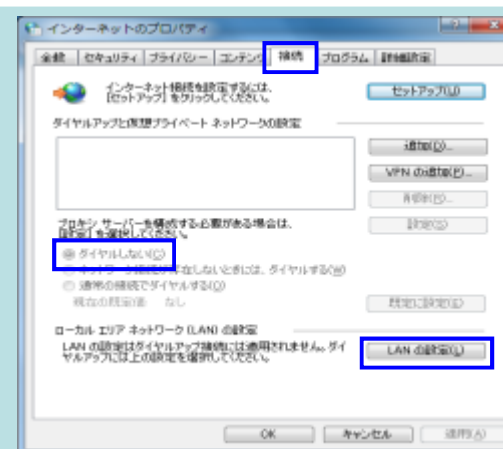
以上でWindowsXPの設定は完了です。

STEP3 PCの設定(Windows7 1/3)

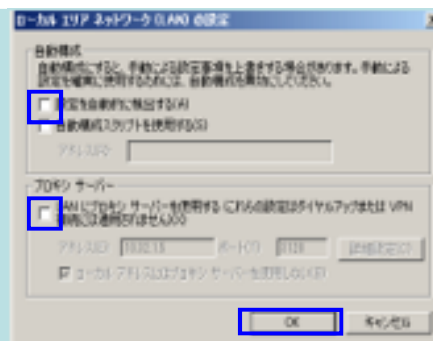
Windows7での手順



①「インターネットオプション」を開いてください。
「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「インターネットオプション」



②「インターネットのプロパティ」が開きます。
「接続」のタブをクリックし、「LANの設定(L)」をクリックします。



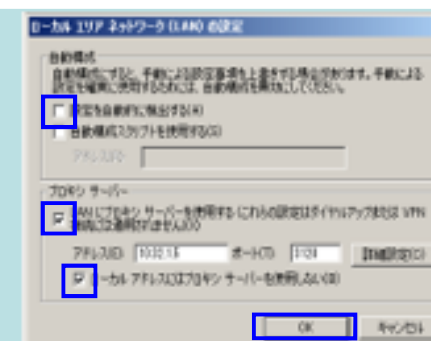
③「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」が開きます。
なお、この項目は「測定専用PC」と「既設システムに組み込まれたPC」では設定内容が異なります。

【測定専用PCなど、プロキシサーバの設定をしなくてもよい場合】

「設定を自動的に検出する(A)」のチェックをはずします。
プロキシサーバの「LANにプロキシサーバを使用する」のチェックをはずします。

「OK」をクリックし「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」を閉じます。
接続タブ画面にもどりますので、「OK」をクリックします。

→⑤に進みます。

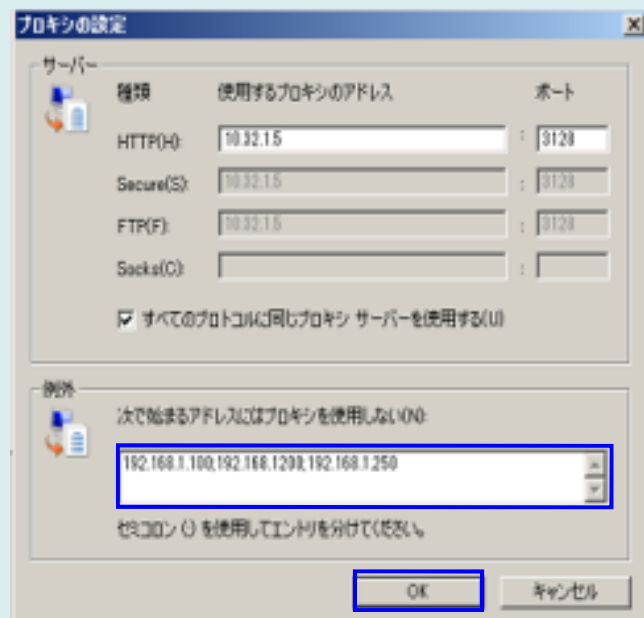


【既設システムに組み込まれたPCなど、プロキシ設定を無効にすることができない場合】

「設定を自動的に検出する(A)」のチェックをはずします。
プロキシサーバの「LANにプロキシサーバを使用する」をチェックします。
「ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない(B)」をチェックします。
「詳細設定(Q)」をクリックします。

→④に進みます。

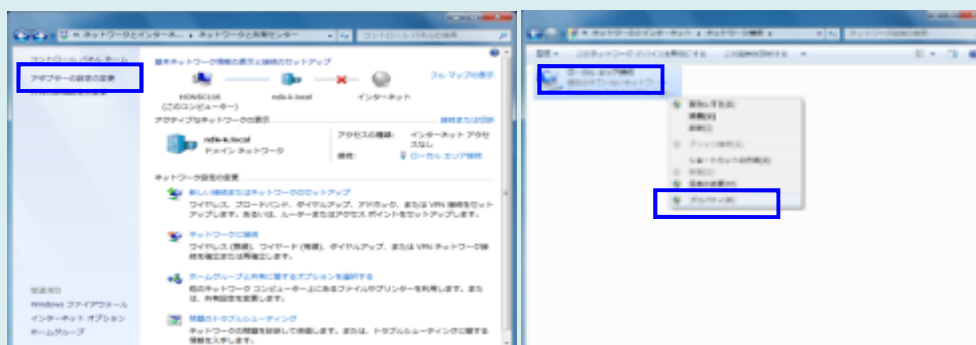
STEP3 PCの設定(Windows7 2/3)



④「例外」の「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(N):」欄にこのPCから接続する機器(「Falcon WAVE 2.4G」や対向側PC、ネットワークカメラ、ネットワークレコーダ等)のIPアドレスを登録します。

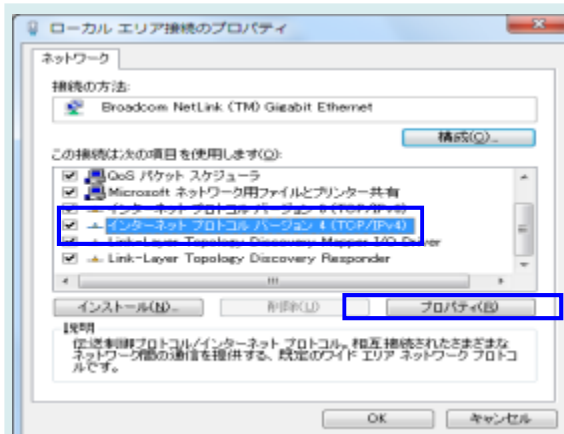
その際、アドレスとアドレスの間を「; (セミコロン)」で区切ります。
(入力例: 192.168.1.100;192.168.1.200;192.168.1.250)

「OK」をクリックし「プロキシの設定」を閉じます。
「OK」をクリックし「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」を閉じます。
接続タブ画面にもどりますので、「OK」をクリックします。

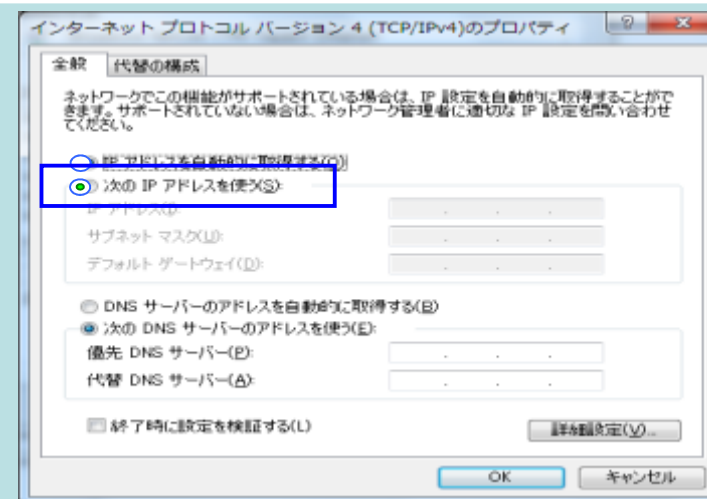


⑤「ローカルエリアの接続」の「プロパティ」を開きます。
「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」
→「アダプターの設定の変更」→「ローカルエリアの接続」→(右クリック)「プロパティ」

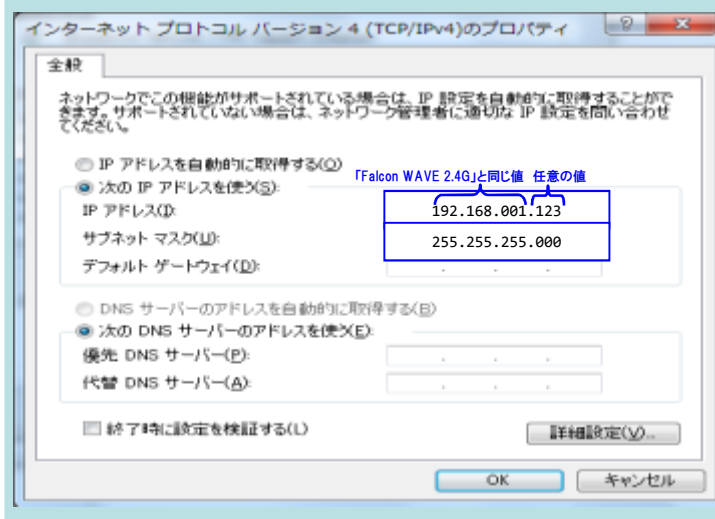
STEP3 PCの設定(Windows7 3/3)



⑥「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。



⑦「次のアドレスを使う(S)」を選択してクリックします。



⑧このPCのIPアドレスを設定します。

IPアドレスとサブネットマスクの上3ブロックの設定は「Falcon WAVE2.4G」と同じ設定にしてください。
また、最後の1ブロックは1～254までの自由な数値を設定してください。(ただし他の機器と重複しないこと)
(入力例:IPアドレス:192.168.1.123/サブネットマスク:255.255.255.0)

⑨「OK」をクリックして「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」を閉じてください。

⑩「ローカルエリアの接続」の「プロパティ」の「閉じる」をクリックしてください。

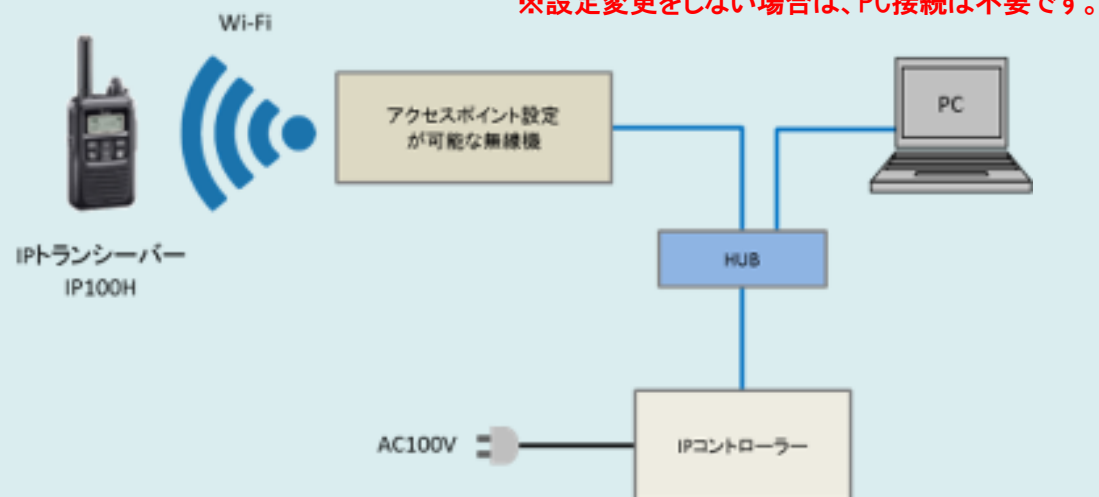
以上でWindows7の設定は完了です。

STEP4 接続手順

DENGYO

- ①「IP1000C」と無線機を接続します。
コントローラー背面のLANポートに直接繋ぐか、HUBを経由して接続します。

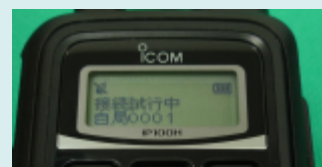
写真例)「FalconWAVE2.4G」と接続



- ②「IP100H」の電源を入れます。
電源ツマミを時計周りに回して電源をONにします。



- ③「IP100H」がアクセスポイントに自動で接続されます。
モニター左上にWi-Fiの扇型マークが表示されたら、接続完了です。



STEP5 接続状態の確認

「IP100H」の現在の状態を確認するための方法を説明します。

①「IP100H」の下記の操作キーを同時押ししながら電源ツマミをONにします。
このとき、モニタ画面上に「D」の表記が出るまで操作キーを押し続けます。



②「D」の表示が出たら、操作キーを離します。



③接続が完了した状態で本体左側面部にあるオプションキーを押すと、表示が切り替わります。



④オプションキーを1回押すと、RSSI値、送信(TX)レート、受信(RX)レートが表示されます。



RSSI(Received Signal Strength Indication)とは、別名「受信信号強度表示」と呼ばれ、無線通信機器が受信する信号の強度を測定するための回路、または信号の事で、主に送信機の出力調整等の目的で利用されています。

⑤もう一度オプションキーを押すと、MACアドレス、現在接続中のSSID、CH番号が表示されます。



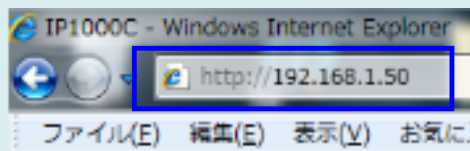
⑥「CLR」キーを押すと、元の画面に戻ります。

STEP6 SSIDの変更(IP1000Cから変更する 1/3)

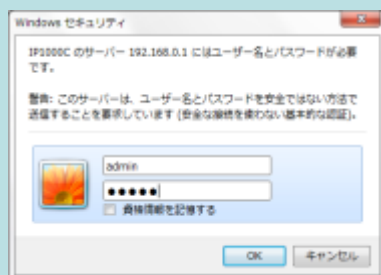
~~DENGYO~~

「IP1000C」と接続している無線機のSSIDを変更したいときは、IPトランシーバー側でも事前に新しいSSIDに変更する必要があります。ここでは、「IP1000C」のログイン方法と、SSIDの変更方法について説明します。

また、必要に応じて巻末の「設定記録シート」に変更前後の値を記録してください。



- ①PCのインターネットエクスプローラを起動し、アドレスバーに「IP1000C」のIPアドレスを入力します。
「スタート」→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」
* Windows7は「Internet Explorer」→(右クリック)「管理者として実行(A)」
(設定例:http://192.168.0.1)



- ②「IP1000C」とPCが通信可能な場合、次のように「ユーザ名」「パスワード」を入力するダイアログが表示されます。
出荷時のユーザ名は「admin」で、パスワードは「admin」に設定されています。



- ③ログインに成功すると、TOP画面が表示されます。

STEP6 SSIDの変更(IP1000Cから変更する 2/3)

DENGYO

④「▼設定グループ」→「無線LAN」→「無線LAN設定」からSSIDを設定します。

無線LAN

無線LAN設定

※無線LANの無線LAN設定の変更には使用します。

番号: 1

名前:

SSID:

ネットワーク認証: オープンシステム/共有キー

暗号化方式: なし

スキャンモード: ☒ 11g ☒ 11n ☒ 11ac ☒ 11ax

通信チャンネル(1GHz): 自動(1-13)

パワーレベル: 高

送信電力: -75 dBm

登録 取消

無線LAN設定一覧

番号	名前	SSID
1		icom_test

編集 削除

全削除

新しい「SSID」を入力します。

「ネットワーク認証」「暗号化方式」は、出荷時設定表を参照に入力してください。

⑤入力が完了したら、「登録」をクリックします。

⑥「無線LAN設定一覧」に登録情報が表示されます。

無線LAN設定一覧

番号	名前	SSID
1		icom_test

編集 削除

全削除

STEP6 SSIDの変更(IP1000Cから変更する 3/3)

DENGYO

⑦「▼設定グループ」→「設定グループ詳細」→「設定グループ設定」からSSIDを指定します。

ICOM IP1000C IP Advanced Radio System

設定グループ詳細(テナント1)

設定グループ設定一覧

番号	名前	無線LAN	アドレス種グループ	メッセージグループ	
1		無線LANの設定優先	1	1	編集 削除
2					

設定グループ設定

番号: 1 ▼ ※変更すると、表示する設定グループが変更されます。

名前:

無線LAN: 無線LANの設定優先 ▼

グループ指定

アドレス種グループ: 1 ▼

メッセージグループ: 1 ▼

サーバー接続

登録時間: 60 秒

登録失敗時の再送時間: 10 秒

登録失敗時の再送回数: 2

「無線LAN:」のプルダウンをクリックし、手順⑥で登録したSSIDの番号を選択します。

無線LAN設定一覧

番号	名前	SSID	
1		icom_test	編集 削除

全削除

⑧画面最下部にある「登録」をクリックします。

⑨「IP100H」の電源を入れなおすと、一旦設定取得中の表示になり再起動します。
再起動後、無線機側の「SSID」を変更することで、接続が完了します。

STEP6 SSIDの変更(IP100Hで直接変更する 1/4)

DENGYO

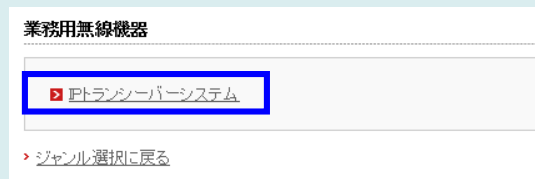
「IP1000C」と接続している無線機のSSIDを変更したいときは、IPトランシーバー側でも事前に新しいSSIDに変更する必要があります。ここでは、「IP100H」のSSIDの変更方法について説明します。

また、必要に応じて巻末の「設定記録シート」に変更前後の値を記録してください。

①付属の「USBドライバソフトウェア」または、下記ホームページから「クローニングソフトCS-IP100H」をダウンロードします。

ダウンロード元URL：<http://www.icom.co.jp/> アイコムホームページ

「サポート情報」→「ファームウェア・ドライバ等」→「業務用無線機器」→「IPトランシーバーシステム」→「CS-IP100H」
→「同意してダウンロード」→「保存(S)」



業務用無線機器			
IPトランシーバーシステム			
種類	製品名	バージョン	公開日
クローニングソフトウェア	CS-IP100H	Ver.1.07	2014/03/04
ソフトウェアセットアップ	IP100ES	Version 1.46	2016/07/19
ファームウェア	IP1000C	Version 1.64	2016/10/05
ファームウェア	IP1000C#02	Version 1.64	2016/10/05
プログラミングソフトウェア	CS-IP500H	Version 1.11	2015/09/18
プログラミングソフトウェア	CS-IP500M	Version 1.02	2016/03/28
位置情報表示ソフトウェア	PM-IP500	Version 2.02	2016/03/28

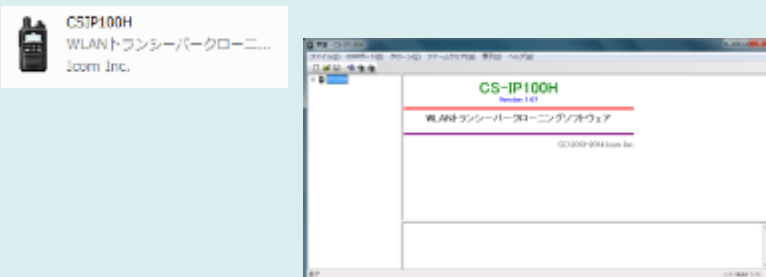


②ソフトウェアをインストールします。

STEP6 SSIDの変更(IP100Hで直接変更する 2/4)

DENGYO

③インストールした「CS-IP100H」を開くと次のように表示されます。

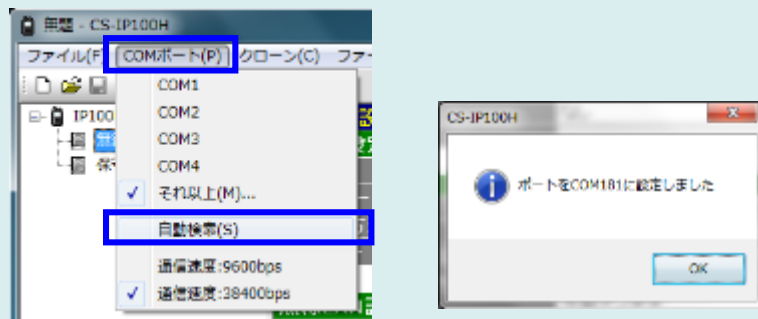


④「IP100H」とPCを「クローニングケーブル」と「スリムL型プラグ変換ケーブル」を使って接続します。

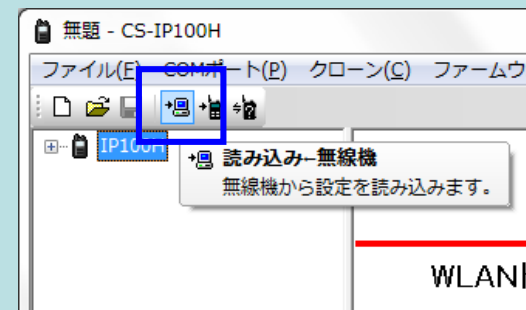


⑤ケーブル接続後、「IP100H」の電源を入れます。

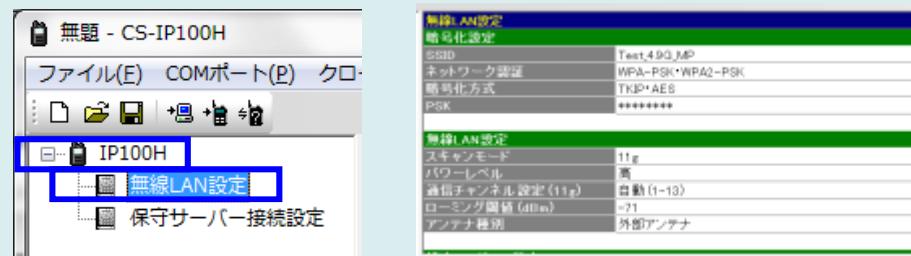
⑥「COMポート(P)」→「自動検索(S)」を選択し、「IP100H」のポートを設定します。



⑦「読み込み←無線機」のアイコンをクリックして、「IP100H」の現在の設定を読み込みます。



⑧「IP100H」→「無線LAN設定」を選択し、現在の「IP100H」の設定を表示します。



STEP6 SSIDの変更(IP100Hで直接変更する 3/4)

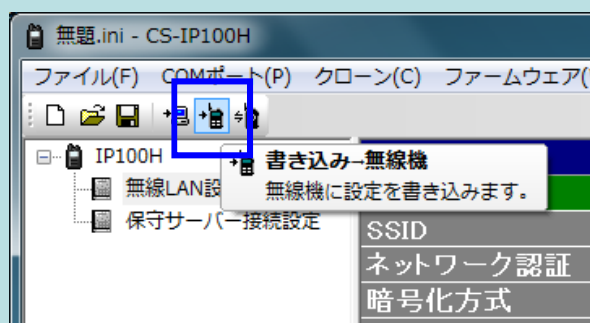
DENGYO

⑨「暗号化設定」欄の「SSID」をクリックして、「SSID」を書き換えます。

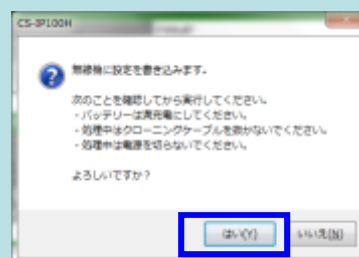


「ネットワーク認証」「暗号化方式」「PSK」の設定変更が必要な場合は、それぞれ選択し、変更します。

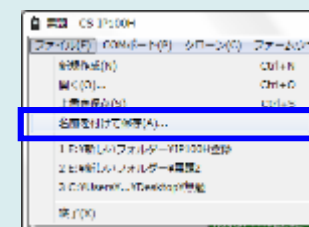
⑩入力完了したら「書き込み→無線機」のアイコンをクリックします。



確認画面で「はい(Y)」をクリックすると、書き込みが開始され、SSIDが変更されます。
「書き込みが終了しました」と表示がされたら、完了です。



⑪「ファイル(E)」→「名前を付けて保存(A)」で、書き込みをした情報を構成ファイル(ini形式)として任意の名前で保存することができます。



バックアップとして保存したい場合や、2台目以降の「IP100H」を変更したい場合に、保存した構成ファイルを使って簡単に変更することができます。
→次項へ

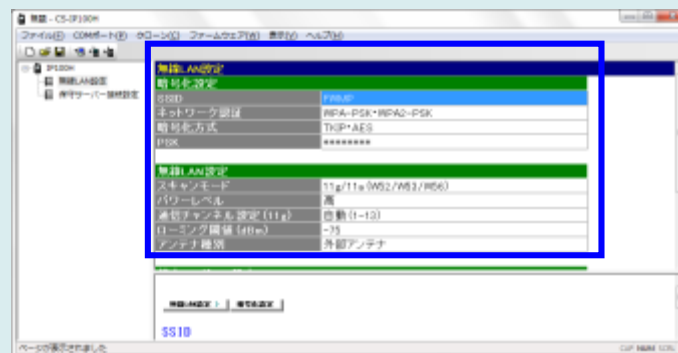
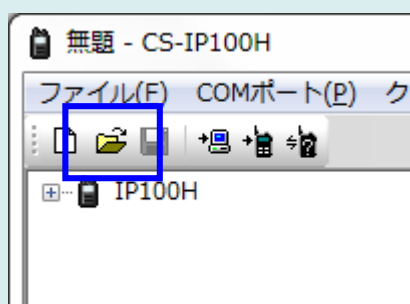
STEP6 SSIDの変更(IP100Hで直接変更する 4/4)

DENGYO

2台目以降の「IP100H」を同時に変更したい場合は、項目⑪で保存した構成ファイル(ini形式)を使用することで、簡単に変更することができます。

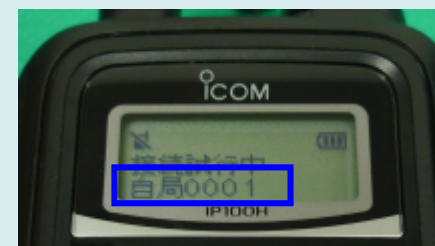
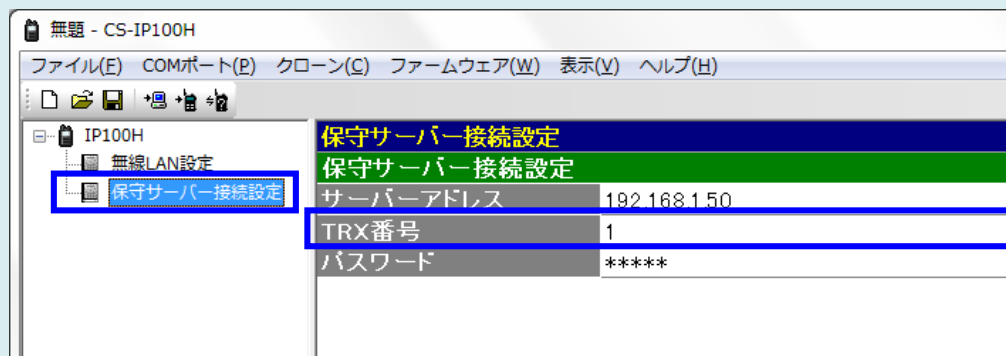
⑫2台目の「IP100H」をPCと接続し、電源を入れます。

⑬「ファイル(F)」→「開く(O)」から、項目⑪で保存した構成ファイルを選択します。
「無線LAN設定」欄に、項目が表示されます。



⑭「保守サーバー接続設定」をクリックし、「TRX番号」を変更します。
「TRX番号」は、「IP100H」の電源をONした直後に表示される「自局****」から始まる番号です。

※「TRX番号」と「IP100H」の自局番号が一致していない場合、正しく通信することができなくなります。



STEP7 通信テスト

「IP100H」を2台以上接続させた状態で、片方の「IP100H」から通話確認を行います。
左側面のPTTスイッチを押している間は赤色ランプが点灯し、通話(送信モード)ができます。

もう片方の「IP100H」で緑ランプが点灯し、受話(受信モード)に切り替わります。
PTTスイッチを離すと、ランプが消灯し、待ち受けモードになります。



送信側から会話をして、受信側で音声が出たら、通信テストは良好です。
音声小さい(大きい)場合は、音量ツマミを回して音量を調整します。

それでも音声聞こえない場合は、モニタ画面に通信確立状態を表すWi-Fiの扇型マークが表示されていることを確認してください。



「タイピンマイクロホン」(オプション)を接続した場合、PTTスイッチによる操作は不要となり、常に送受信が可能な状態となります。